



子牛の寒冷対策について

肌寒さが身にしみる季節となりました。

本格的な冬到来を前に、寒冷期に向けた子牛の飼養管理について再確認しましょう。

□子牛の寒冷対策

子牛は、気温が15℃を下回ると寒冷ストレスを感じます。

寒冷対策と十分な栄養補給を行い、寒冷ストレスを最小限にしましょう。

○栄養補給をする

・ 代用乳の増給で、体温の維持に必要なエネルギーを補給する必要がある。

⇒ 代用乳増給時は、哺乳量を調節し、代用乳の濃度を変えないようにする。
また、増給時は子牛が下痢になっていないか観察する。

○暖める（防寒）

⇒ ネックウォーマーやカーフジャケットを着用する。
⇒ 吊り下げ式ヒーターや湯たんぽを使用し、子牛の体を暖める。



○十分な換気とすきま風を防止

・ すきま風が直接当たると体温が下がり、寒冷ストレスによって病気に対する抵抗力が弱くなる。
⇒ ビニールシートやコンパネですきま風を防止する。

○底冷え（腹を冷やさない）を防ぐ

・ 冷たい床や濡れた敷料に触れると、子牛の体温が奪われてしまう。

⇒ 乾いた敷料をたっぷりに入れる。また、こまめに交換をして汚さないこと。
⇒ 敷料の下に、すのこやマット（ゴムマット・発泡スチロール等）を敷く。

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所 TEL. 0162-82-2119



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、
またはQRコードから

